

彙報

第二四回総会及び研究集会

木簡学会第二四回総会及び研究集会は、二〇〇二年二月七・八日、奈良文化財研究所平城宮跡資料館講堂において、一五五名の個人会員、二団体の団体会員の参加を得て開催された。会場には、平城宮大極殿院西楼跡出土木簡・平城京跡東三坊大路東側溝出土木簡（告知札）・石神遺跡出土木簡・藤原京跡左京七条一坊西南坪出土木簡（以上、奈良文化財研究所）、宮町遺跡出土木簡（信楽町教育委員会）が展示された。また、飛鳥京跡苑池遺構出土木簡（奈良県立橿原考古学研究所）のパネル展示も行なわれた。

◇二〇〇二年二月七日（土）（一三時～一七時）
第二四回総会（議長 寺内浩氏）

佐藤宗諒会長による開会挨拶の後、以下の報告が行なわれた。

会務報告（渡辺晃宏委員）

会員の状況（個人会員三七名、海外会員三名、団体会員四団体の他、二〇〇三年度新入会員九名）、会員サービース、会誌の在庫状況などについて報告があった。

但馬特別研究集会実績報告（鎌田元一同研究集会実行委員長）

二〇〇二年七月五・六日に兵庫県日高町で開催した但馬特別研究集会について、その概要の報告があった。詳細は本誌第二四号の彙報を参照されたい。

編集報告（寺崎保広委員）

『木簡研究』第二四号の編集経過について報告があり、頒価を五〇〇〇円にする旨の提案があった。

創立二〇周年記念図録編集経過報告（和田萃委員）

木簡学会創立二〇周年を記念して編集を開始した木簡図録について、内容の紹介があり、発行を財団法人東京大学出版会、印刷を岡村印刷工業株式会社に決定したとの報告があった。

京奈和自動車道平城宮跡地下トンネル計画問題に対する取り組みについての報告（渡辺晃宏委員）

平城宮跡の地下に京奈和自動車道のトンネルを通す計画がある問題について、経過と状況について説明があった。また、幹事団体として参加しているシンポジウム「世界遺産平城宮跡を考える」実行委員会の活動についても報告があった。

会計・監査報告（山中敏史委員・東野治之監事）

山中委員から二〇〇一年度会計（一般会計及び特別会計）の決算報告が行なわれ、東野監事より会計業務が適正に行なわれている旨の監査報告があった。

以上の案件は、全て承認された。

研究集会

報告(司会 西山良平委員)

中世の木札文書

田良島哲氏

田良島氏の報告は、中世における木札文書の四つの領域について概観したあと、木と紙の使い分けを念頭に置きつつ古代から中世への禁制と制札の展開について述べ、木札文書研究の意義について論じたものである。報告内容については、本号に論文を頂戴できた。

◇一二月八日(日) 九時～一五時

研究集会

報告(司会 山下信一郎委員)

二〇〇二年全国出土の木簡

渡辺晃宏氏

飛鳥京跡苑池遺構の調査の概要

卜部行弘氏

飛鳥京跡苑池遺構出土木簡

鶴見泰寿氏

渡辺氏の報告は、全国六二カ所の遺跡から出土した木簡の概要についての報告で、そのほとんどについて本号に報文を掲載できた。

引き続き、七世紀末から八世紀にかけての多数の木簡が出土した飛鳥京跡苑池遺構について、卜部氏(奈良県立橿原考古学研究所)から調査成果の概要、鶴見氏から木簡の概要の報告をいただいた。

討論(司会 山下信一郎委員)

午後に入り、午前中の報告をめぐって、活発な討論を行なった。

なお、討論に先立ち石神遺跡について田辺征夫氏から、弥勒寺西遺

跡の木簡について平川南氏から、下月隈C遺跡群の木簡について坂上康俊氏から、志羅山遺跡出土木簡について佐藤信氏からそれぞれ補足説明をいただいた。

最後に田辺征夫副会長の挨拶により閉会した。

委員会報告

◇二〇〇二年二月七日(土) 一〇時半～一二時

於奈良文化財研究所

総会に先立ち、会務、第二四回総会・研究集会の運営、会誌第二四号の編集経過と頒布価格、二〇〇三年度予算案、創立二〇周年記念図録の編集経過などについて報告があり、審議の上承認された。また、役員改選についても検討を行ない、京奈和道問題についても討議を行なった。

◇二〇〇三年六月一日(水) 一四時～一七時半

於奈良文化財研究所

1 会務報告。会員の異動、常任委員の交替(吉川聡氏から馬場基氏に)、幹事の委嘱(奈良国立博物館の野尻忠氏)について報告があった。2 入会審査。一六名の新入会申し込み者について、審査を行なった。3 会計・監査報告。二〇〇二年度決算報告、及び監査報告があり、承認された。4 二〇周年記念図録の刊行など。『日本古代木簡集成』(財東京大学出版会刊)として刊行の運びとなったこと、『日本古代木簡選』(岩波書店刊)を復刊したことについて報告があった。5 会

誌第二五号の編集経過。編集を土橋誠委員が担当する旨報告があった。6 第二五回総会・研究会集について。内容について検討した。

7 「木簡出土遺跡・報告書総覧(仮題)」の編集・刊行について。

『木簡研究』第一〇号に掲載した木簡出土遺跡と報告書一覧の続編を、年度末刊行を目指して奈良文化財研究所と共同で編集中である旨報告があった。8 京奈和道の平城宮跡地下トンネル問題について。現況について報告があり、委員会声明を出すことが了承された(会告参照)。9 その他。次回の特別研究会集の候補地、組織改革などについても議論した。

◇二〇〇三年一月一日(火) 一四時～一七時

1 会務報告。会員の異動、常任委員会・幹事会の開催について報告があった。2 会計報告。二〇〇三年度会計中間報告、及び二〇〇二年度後半の収支予定・二〇〇三年度予算案について報告があった。3 入会審査。一六名の新入会申し込み者について審査を行ない、全員の入会が承認された。4 会誌第二五号の編集経過。5 第二五回総会・研究会集について。日程案について検討した。6 「木簡出土遺跡・報告書総覧(仮題)」の編集経過について報告があった。7 京奈和道の平城宮跡地下トンネル問題の現況について報告があり、対応を議論した。8 その他。組織改革問題について議論した。

京奈和高速自動車道の平城宮跡地下トンネル計画に対する取り組み

◇二〇〇二年十二月一日(火)

シンポジウム「世界遺産平城宮跡を考える」実行委員会(構成団体は二四団体) 第一五回実行委員会 於奈良県教育会館

◇二〇〇三年一月二一日(火)

同第一六回実行委員会 於奈良県教育会館

◇二〇〇三年二月二五日(火)

同第一七回実行委員会 於奈良県文化会館

◇二〇〇三年三月二五日(火)

同第一八回実行委員会 於奈良県教育会館

◇二〇〇三年四月二八日(月)

同第一九回実行委員会 於奈良県教育会館

◇二〇〇三年五月二九日(木)

「京奈和高速自動車道の世界遺産平城宮(京)跡地下通過計画の白紙撤回を求めるアピール」に賛同する有識者名簿(一二二七名)を、シンポジウム「世界遺産平城宮跡を考える」実行委員会から国土交通大臣と大和北道路有識者委員会委員長に提出。

◇二〇〇三年五月三〇日(金)

同第二〇回実行委員会 於奈良県教育会館

◇二〇〇三年六月一日(水)

二〇〇三年度第一回木簡学会委員会において、委員会声明「大和北道路の平城宮跡直下トンネル案の即時撤回を求める要望書」を採択し、国土交通大臣、及び関係各機関などに送付。(渡辺晃宏)